

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2023年7月19日時点)

▶ **ウクライナ軍**が南部及び東部の露軍に対する攻撃を強化する一方、**露軍**は、各正面において**防御戦闘を実施**するとともに、各地の**軍事・非軍事施設に対する攻撃**を継続している模様。

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: 死者約6万~7万人 (CSIS2月27日)

死者約20万8,000人 (「ウ」軍東部作戦管区報道官6月3日)

死傷者約18万人 (クリストファーセン・ノルウェー軍参謀総長1月22日)

「ウ」軍: 死者最大約1万3千人 (ポドリャク「ウ」大統領府長官顧問22年12月1日)

死傷者推定10万人以上 (クリストファーセン「ノ」軍参謀総長1月22日)

「ウ」市民: 死者8490人以上、負傷者1万4,244人以上 (OHCHR4月10日)

- 米紙ニューヨークタイムズ紙は、「ウ」軍が反転攻勢開始から2週間で、前線に投入した戦車などの兵器のうち、最大2割を損失したとする一方、その後に戦術を変え、進軍を急ぐよりも長射程のミサイル使用などに重点を置くことで、損失率は1割程度に減少したと報道 (7月15日)

- 米統参本部作戦部長は、「ウ」軍の反転攻勢に関し、「大きな犠牲を払いつつ、地域によっては1日あたり数百メートルや1キロメートルの領土を奪還している」と発言 (7月13日)
- ミリー米統参議長は、「ウ」軍の反転攻勢が失敗しているというには程遠く、そうした判断を下すのは**時期尚早**だ。今後、多くの戦闘が予想され、長期的に血みどろの戦いが続くとの見方を変えていない」と発言 (7月18日)

- 「ウ」軍東部作戦区報道官は、露軍が**クピャンスク・リマン方面に兵士10万人以上、戦車900輛以上、大砲555門以上、MLRS370輛以上を集結させた**と発言 (7月17日)
- 「ウ」陸軍司令官は、「敵**[露軍]**が**クピャンスク方面で攻勢を開始した**」と言及 (7月17日)



- 露国家テロ対策委員会は、「17日午前3時5分、「ウ」水上無人艇2隻が**クリミア大橋を攻撃し、道路が損傷した**」と発表。プーチン大統領は、ウクライナによるテロ行為だとした上で**報復を行う旨強調** (7月17日)
- 「ウ」空軍は、17日夜~18日未明に南部**オデーサ州**や**ミコライウ州**に露軍の**巡航ミサイル「カリブル」**及び**無人機による攻撃**があり、このうち**ミサイル6発**及び飛来した**無人機36機中31機を撃墜**したと発表 (7月18日)
- 露国防省は、「ウ」南部オデーサ付近にある**無人艇製造拠点**に対して**ミサイル攻撃**を行った」と発表 (7月18日)

- 「ウ」国防次官は、「南部では、「ウ」軍が**メリトポリ**及び**ベルジャンスク**方面で攻勢作戦を継続している。この1週間で「ウ」軍は**10.9km²の土地を解放し、反攻開始以来の南部正面での総前進距離は9.25km**、**総解放面積は179.5km²**となった。**パフムト**方面は**南翼で毎日前進**しており、この1週間で**7km²を解放**した。同正面での反転攻勢開始以来の解放面積は合計で**31km²に上る**」と発言 (7月17日)

- 主要都市 (下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点 (接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- ☀ 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- ☀ ウクライナ軍が奪還した地域

国土院標準地図を加工

資料源: ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等